

林野庁平成 26 年度地域材利活用倍増戦略プロジェクト事業
地域材の安定的・効率的な供給体制の構築のうち地域循環型流通体制構築事業
天草地域循環型地域広葉樹木材利用促進事業

天草広葉樹木材勉強会のお知らせ

平成 26 年 9 月
天草木材協会

初秋の候、皆さま方にあつてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は当協会に格別のご鞭撻をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は林野庁平成 26 年度地域材利活用倍増戦略プロジェクト事業の「地域材の安定的・効率的な供給体制の構築のうち地域循環型流通体制構築事業」に事業採択されました。事業活動の一環として天草広葉樹の勉強会を東京で行うこととなりました。

天草地域の広葉樹森林や木材について当協会から説明を行い、日頃から木材に関わる皆様のご意見等を賜りたい次第です。

ご多忙とは思いますが、是非参加頂きたいと思っております。

なお、当日建築会館ホールホワイエに、天草広葉樹木材（シイ、クス）による高性能木製サッシ、フローリング材の展示も行います。

日時：平成 26 年 10 月 23 日（木曜日） 午後 5 時から 6 時 30 分（予定）

場所：建築会館 301 会議室

〒108-8414 東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号 Tel.03-3456-2051

JR 田町駅、都営地下鉄三田駅（浅草線・三田線）徒歩 3 分

連絡先：天草木材協会

熊本県天草市今釜新町 3530 熊本県天草地域振興局林務課内 担当：本多

電話：0969-22-4322 FAX：0969-23-8513

E-mail：amamoku@aka.gmob.jp

<会場案内図>



天草広葉樹木材について

天草地域は熊本市の西側に位置し、面積は約 1,000Km²です。

天草地域の森林は、天然更新するシイヤクス、カシ等の広葉樹が主です。

天草地域の木材の歴史は、日本の産業との関係が深く、明治以降から燃料（薪）として、熊本市を主に供給をしました。昭和になり九州各地の炭鉱の坑道やぐら材として多く使われました。炭鉱のやぐら材が鉄製に代わり、日本の燃料が石油に移行したことに伴い、炭鉱の閉鎖により広葉樹の木材は使われなくなりました。天草の広葉樹が使われなくなって 60 年近くなります。

現在、天草の地域全体の広葉樹の蓄積量は、推定約 570 万m³ です。齢級は 10（樹齢 50 年）が主です。天草広葉樹の主用途はチップ材（紙パルプ原材料）です。

高齢級化する広葉樹の有効活用は、天草木材産業の課題です。これまで、天草地域内の建物のフローリング材等の活用をしてきましたが、より多くの天草広葉樹木材の利用を検討しなくてはならない状況にあります。

勉強会に参加頂く皆様のご意見・ご指導を頂き、天草広葉樹木材利用を拡大に反映させたいと考えています。

具体的な活用（プロジェクト等）についてのご意見も伺いますので、皆さんの参加を宜しくお願ひします。

天草木材協会

会長 熊本

<参加申し込み表 / FAX : 0969-23-8513>

名前	所属	連絡先

